

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール鶴見教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用定員を超えないようにご案内しています。	・学習が終わった机などは下げるなどしてスペースの確保が可能なかを検討していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・職員シフト作成時に確認しています。	・より充実した支援体制のため、効率の良い人員配置や補強を検討しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・玄関・トイレに段差があります。	・施設が2階にあり、階段があるため、お子様が車いすで入室される際にどのように対応するか検討していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		・各業務フローを作成し、業務内容の一律化を図っています。 一方でフローそのものの見直しも業務の遂行時に行い、より効率的かつ最新の情報を加えられる体制を整えています。	・業務の効率化し安定した教室運営ができるよう、職員の意識を高めていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者の皆様に事業所評価アンケートのご協力いただき、業務の改善に取り組んでいます。	・今後も継続していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・オレンジスクール鶴見教室のHPに公開しております。	・今後も継続していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・現在は事業所・ご家族の二者評価です。	・今後も継続していきます。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・教室内の現状に応じて研修を実施、参加しています。	・コロナ禍ではありますが、動画での研修などに参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別支援計画の説明も含め、保護者の方のご要望と課題に沿った計画を立案できるよう心がけております。	・今後も継続していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・会社内での統一されたアセスメントシートを使用。 ・基本的にはどの職員でもご利用者に対して同じ情報を得られる体制があります。	・今後も継続していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・大まかな支援方針を見発管が立て、具体的な支援内容は各職員と話し合いながら、教材を準備しています。	・今後も継続していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			・お子様の特性、課題に応じた内容を日々検討しています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。 ・学校行事の影響も考慮しつつ検討しています。	・今後も継続していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の課題に沿って集団活動も取り入れながら柔軟に対応しています。	・今後も継続していきます。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・ご利用時間の前に、当日の動きを職員間で確認しています。	・さらに良い支援ができるよう、今後も方法を検討・改善していきます。	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・職員間で支援の内容について職員全員が同じ情報を見られるような体制を整えています。	・今後も継続していきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		・毎回活動記録を記入しています。	・今後も継続していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		・半年に1回を目安に実施しています。その際に個別支援計画も作成しています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○		・個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		・児童発達管理責任者、支援を担当するスタッフが参画することになっています。	・今後も継続していきます。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		・必要に応じて、連携を行なっています。	・職員間の連携ミスで多重連絡になることがありました。連携を密にし、ミスが発生しないよう対応していきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療スタッフを配置していないためご利用の際は主治医・ご家族とご相談させていただいています。	・今後も継続していきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・今年度は未就学から持ち上がりのお子さまがいらっしゃらないため該当しません。	・必要に応じて対応します。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・今年度は対象となるケースがありませんでした。	・ご要望に対応できるよう、情報収集を行っています。今後も継続していきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・研修会に参加し、支援に役立っています。	・今後も継続していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・ご利用時間の関係で、オレンジスクール全体での交流は難しい状況です。	・連携する機会はありません。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		・今年度は参加ができませんでした。	・社会情勢や職員の勤務体制などを考慮しつつ、積極的に協議会への参加が可能になるよう、検討していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		・ご利用後、その日の活動報告をさせていただいています。また、保護者様からのご相談もメール、LINE等をご利用いただいています。	・今後も継続していきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・面談の際に、お困り事等に対してお話をさせていただいております。	・積極的とは言い難い部分がありますので、今後方法等を検討していきたいと思っています。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		・ご契約の際にご説明しています。また、教室内にも掲示をしています。	・今後も継続していきます。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		・個々のご相談に応じて支援を行い、助言をさせていただいております。	・積極的とは言い難い部分がありますので、今後方法等を検討していきたいと思っています。

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現在は行っていません。	
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情があった際の対応フローが適切に周知されています。	・今後も継続していきます。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月「おれんじだより」を発行しています。 ・ブログにて活動の様子を報告しています。	
	㉓	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報書類につきましては、鍵付き棚で保管しています。また、教室内の全PCにはパスワードを設定しています。	・連絡ツールを正しく利用し、職員間で連携不足によるミスがないよう注意していきます。
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・お伝えする情報は紙面化を心がけています。ご利用者へは特性に合わせた情報伝達手段を使用するようにしています。	・今後も継続していきます。
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・現在実施していません。	
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・事業所内でマニュアルを作成掲示しております。また川に挟まれた土地柄「浸水」についてもマニュアルを作成しております。	・今後も継続していきます。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・BCPの作成、委員会による情報の共有、刷新が適宜行われています。	・今後も継続していきます。
	㉘	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・BCPの作成、委員会による情報の共有、刷新が適宜行われています。	・今後も継続していきます。
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・ご契約・面談時に説明後確認を行っております。	・発生した際は、事業所内での対応フローに応じて対応していきます。
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				・食事・おやつ等の提供は行っていません。	・今後も提供の予定はありません。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・教室内で発生したヒヤリハットは報告書を作成し、事業所内で共有しております。また、日誌を活用し、日々の細かなヒヤリハットを記録・共有しています。	・今後も継続していきます。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール鶴見教室  
 保護者数（児童数）：45（48） 回収数：35 割合：77%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	6		・若干、人数に比べ狭いような感じもします。 ・活動中を見学できていないので、よくわかりません。	ご心配おかけしております。 活動毎の効率のよいスペース確保や受け入れ体制などを検討していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	32	3		・活動中を見学できていないので、よくわかりません。	「おれんじだより」や「ホームページ」などの発信に際して、保護者様にもより分かりやすい活動報告の仕方を検討して行きます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	15	4	・わかりません。 ・事業所は2階ですが、エレベーターが無いようです。 ※無回答3名	大変ご不便をおかけしております。 今度も職員が玄関で迎え入れる形をとっていきます。玄関段差に関しても足元に注意して上がるよう促すなど、安全な受け入れ体制を整えていきます。
適切な支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	35				
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	29	5		・勉強のプリントの内容を多様にしてほしい。 ※無回答1名	お子様の「できた」を増やし、より学習に前向き取り組めるよう教材を検討して行きます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要1	11	不必要22	※無回答1名	交流の機会につきましては、事業所の状況、保護者様、お子様のご意見を十分に考慮した上で検討していきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	34	1			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	1			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要2	13	不必要19	・コロナが落ち着けば開催して頂きたいです。 ※無回答1名	現時点で開催の予定はございませんが、事業所としてどのようにアプローチできるか検討してまいります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26	8	1		苦情受付については、事務所玄関右手に掲示しております。ぜひご確認ください。またお子様、保護者様から苦情があった際は真摯に対応していきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	3			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	3			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	33	2			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	33	2			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	35				
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	33	2			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	35			・学習の方法に良く相談に乗って下さっています。	今後も少しでもお子様が安心して学習・コミュニケーションを図っていけるよう職員の質の向上を目指していきますので、お気軽にご相談ください。

〇この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

職員による自己評価

**A 環境面**

- ・掃除、整頓は感染防止の観点からもより徹底して継続していく。
- ・掲示物を現在の社会情勢に合わせた内容に変更している。

**C 関係機関との連携**

- ・相談支援事業所との連携ケースも始まり、協議会も含めた連携機関が増えている。

**D 保護者への説明責任・信頼関係**

- ・オンラインシステムによる活動記録の共有、LINE や電話による相談に随時対応している。
- ・保護者のニーズと教室の体制・状況をすり合わせ、現状でき得る最大限の支援を行った。

**E 非常対応**

- ・BCP の作成なども行い、より非常時への対応行動に厚みが出た。

保護者による評価

**A 環境面**

- ・エレベーターがないようです。
- ・人数が多い日には活動するスペースが狭く感じた。

**B 児童への支援内容**

- ・プリントの内容を多様にしてほしい。
- ・教室外の交流は「不必要」が多かった。

**C 事業所からの情報発信**

- ・社会情勢が落ち着けば開催して欲しい。

**D 非常対応**

- ・「非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」は返信家庭全てで「はい」を選択していただいた。

事業所内での分析

**【共通点】**

- ・新型コロナウイルスの蔓延により、オンラインでの面談や活動も増えた。それに伴いいつも以上にご家庭に活動中の様子をご覧いただく機会が減った。
- ・教室が2階であること、玄関に段差がある事を踏まえてバリアフリーとは言い難い。

**【相違点】**

- ・教材に関して固定化を感じているご家庭もあった。
- ・保護者会への要望は現在の社会情勢から「社会情勢が落ち着けば」の一文はありつつも、「はい・どちらともいえない・いいえ」それぞれの回答の割合は例年とほぼ同じだった。

## 分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・着実にお子様の成長が見られる。
- ・お子様達に担当という形を取っていないため、それぞれの職員から見たお子様たちの長所や短所が共有でき、より良い支援を検討できる。
- ・定期的にモニタリングが丁寧に行われている。モニタリングや個別支援計画作成には多くの職員が関わり、幅広い意見が取り入れられている。
- ・コロナ禍ではあったが、オンライン等で出来る限りの研修が取り入れられている。新しい研修に参加する機会もあり、知識を深める機会が増えた。

### 事業所の改善点

- ・療育時間に意図的に企画した活動プログラムの検討。
- ・日によって、お子様達の学習スペースを確保することが難しい日があるため、机を増やす等の改善策を検討していく。
- ・情報の整理が徹底されておらず、情報を取りこぼしかねない。
- ・個人情報の取り扱いをより徹底していく。

### 事業所の改善への取り組み

- ・より細かな教材の比較検討を行っていく。
- ・現状の支援の意味をご家庭に伝えられるよう、日々の活動記録からモニタリングまでを含めて情報をお伝えしていく。
- ・個人情報取り扱いのルールを再徹底する。具体的には、送信の際に一度確認をする、発送前に確認するなど、チェックを必ず行ってから行動するよう心掛ける。
- ・学習面で、お子様が苦手・不安と感じている箇所を改善できるよう、ご自身から発信できないお子様達を中心に、小まめに聴取できるような環境が整えられるよう努力していきたい。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

貴重なご意見、ご感想をいただき、誠にありがとうございます。今年度は昨年度に引き続き新しい生活様式の中でオレンジスクール鶴見教室がいかにお役に立てるかを試行錯誤した年でした。

今年度は昨年度の個別性を持った「教材」という観点はそのままに、教室内での共有度を高めたことにより、よりお子様の特性を踏まえた支援に活かすことができました。今後も課題の達成と現在の成果を継続できるよう改善・検討を重ねて参りますので、何卒よろしくお願い致します。

事業所名 オレンジスクール 鶴見教室

担当者 三浦 南